

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



世界遺産登録へのステップ

イコモスが古墳群視察



▲古墳を歩きながら調べるイコモスの調査員とその案内役たち

来年夏の世界文化遺産登録を目指している「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」が政府が今年1月に世界遺産の推薦書を国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出したことを受け、ユネスコは諮問機関である国際記念物遺跡会議（イコモス）に調査を依頼していました。そのイコモスの調査員が9月9日、福津市を来訪しました。古墳群などの遺産の保存状況などを現地直接確認するためです。

小山市長がお出迎えする中、イコモスの調査員は新原・奴山古墳群の古墳を1基、1基歩いて丁寧に確認しました。歩く途中何度も、案内役を務めた県や文化庁の担当者に質問を投げかけていました。

イコモスでは今回の調査結果を踏まえ、世界遺産にふさわしいかどうかの判断を来年の5月頃にユネスコへ報告するそうです。

津屋崎の絶景、歩き語る

フットパスまつり開催



▲大小の古墳と田園風景を楽しむ参加者

まちづくりに取り組む3団体、「津屋崎千軒フットパスまつり」を開催しました。世界遺産候補の新原・奴山古墳群を巡るコースや、「絶景の道100選」に選ばれた津屋崎フットパスコースの2コースに分かれて参加者と歩いた後、会場を移して豊村酒造でパネルディスカッションなどを開いていました。

地域が支える伝統行事

市内各地で秋祭り



▲金刀比羅神社の秋祭り

地域の人が支えている伝統行事の御神幸祭（秋祭り）。県内で一番早いといわれる9月9日の金刀比羅神社での秋祭りは、大名行列の練り歩きや獅子舞などが披露されました。この祭りを皮切りに、市内各地の神社で秋祭りが催されました。五穀豊穡や家内安全などの願いがこもった秋祭りには、地元の人以外にもたくさん訪れる見物人が集まり、秋の訪れを楽しんでいました。

放水、始めっ！

福岡県消防操法大会



▲標的に向け放水する第11分団

県内各地から地区大会を勝ち進んだ消防団が9月11日に県消防学校に集まり、県大会が催されました。市からは小型ポンプの部に第11分団（本木区、畦町区）、自動車ポンプの部に第10分団（上西郷区、内殿区、舍利蔵区）が出場。競い合いを制したのは小型ポンプの部が須恵町消防団、自動車ポンプの部が志免町消防団でした。市消防団は

残念ながら入賞することはできませんでしたが、操法披露時には他市町村消防団員や観客から健闘をたたえる拍手が沸き起こっていました。

第11分団の指揮者を務めた吉田晋一さんは「夜遅くまで練習し、みんな精一杯がんばりました。多くの人に指導や応援をいただいたので、入賞しなかったのですが」と悔しさをにじませていました。

九州大会、全国大会に出場しました

中学生が市長に報告

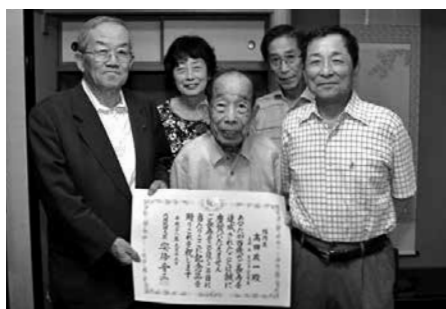


▲左から渡辺三空さん、本松隆大さん、中村るかさん、電口尚大さん、小山市長、中西龍之介さん

今夏、中体連全国大会などで活躍してきた市内の中学生5人が8月30日、市長へ報告をするために市役所に集まりました。生徒たちは緊張した面持ちで市長と対談。市長は「貴重な体験をして、そこで何を感じたかが大事です。経験は、これからの人生で必ず役に立ちます」と語っていました。

長寿おめでとう！

100歳以上を慶祝訪問



▲祝状を持つ高田さん

自宅や市内の介護保険施設で生活する100歳以上の人を9月14日と15日、市長が訪問しお祝いをしました。今年100歳になる高田政一さん（宮司1区）は、定年退職後に軟式テニスを始めるなど、昔は体を動かすのが好きだったそうで「今はテレビでスポーツ観戦するのが楽しみ」と笑顔で話をしてくれました。